

登録済プロファイルとサービス

1. ホストプロファイル

ホストプロファイル名	説明	使い方
host-profile-service-ping	サービスプロファイル <code>service-ping</code> を使用したホストプロファイル	TCP サービス監視設定のベースとして使用
host-profile-ssh-unix	UNIX/Linux 内部監視のサービスプロファイル <code>ssh-unix</code> を使用したホストプロファイル	UNIX/Linux 監視のベースとして使用
host-profile-nrpe-windows	Windows 内部監視のサービスプロファイル <code>nrpe-windows</code> を使用したホストプロファイル	Windows 監視のベースとして使用
host-profile-snmp-network	ネットワーク機器監視サービスプロファイル <code>snmp-network</code> を使用したホストプロファイル	ネットワーク監視のベースとして使用

2. サービスプロファイル

サービスプロファイル名	説明	サービス
service-ping	Ping 登録のためのプロファイル	icmp_ping
ssh-unix	UNIX/Linux 内部監視サービスのセット	ssh_load ssh_memory ssh_disk_root ssh_swap ssh_process_count
nrpe-windows	Windows 内部監視サービスのセット	nrpe_win_cpu nrpe_win_mem nrpe_win_disk nrpe_win_service
snmp-network	ネットワーク機器監視サービスのセット	udp_snmp snmp_if_1 snmp_ifoperstatus_1 snmp_ifbandwidth_1

3. サービス

3.1. ローカル監視サービス

Current Load

説明	ローカルシステム (aeMonitor サーバ) の CPU 負荷状態 (ロードアベレージ) を監視するサービスです。ロードアベレージが指定された閾値以上の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: number_graph 指定可
コマンドライン	check_local_load!5.0,4.0,3.0!10.0,6.0,4.0
引数	ロードアベレージの閾値 \$ARG1: 警告 (Warning) の閾値 (形式: 過去 1 分, 過去 5 分, 過去 15 分) \$ARG2: 異常 (Critical) の閾値 (形式: 過去 1 分, 過去 5 分, 過去 15 分)
使用プラグイン	check_load

Current Users

説明	ローカルシステム (aeMonitor サーバ) のログインユーザ数を監視するサービスです。ユーザ数が指定された閾値以上の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: number_graph 指定可
コマンドライン	check_local_users!20!50
引数	ログインユーザ数の閾値 \$ARG1: 警告 (Warning) の閾値 \$ARG2: 異常 (Critical) の閾値
使用プラグイン	check_users

Root Partition

説明	ローカルシステム (aeMonitor サーバ) のディスク (パーティション) の空き容量を監視するサービスです。空き容量が指定された閾値以下の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: percent_graph 指定可
コマンドライン	check_local_disk!20%!10%!/
引数	ディスク (パーティション) 空き容量率 (注: 使用率ではありません) \$ARG1: 警告 (Warning) の閾値 \$ARG2: 異常 (Critical) の閾値 \$ARG3: ルート (/) をマウントされているディスク (パーティション) を指定しています。(変更しないでください)
使用プラグイン	check_disk

local_mysql_engine

説明	ローカルシステム（aeMonitor サーバ）上の MySQL 稼動状態を監視するサービスです。ローカルの MySQL ポート（3306）に接続し、mysql エンジンを読み出します。 接続できなければ CRITICAL となります。
計測値／グラフ	なし
コマンドライン	check_mysq
引数	なし
使用プラグイン	check_mysql

3.2. TCP/IP サービス死活監視

icmp_ping

説明	リモートシステムへ PING を 5 回（デフォルト指定）送り応答を応答の平均値を監視するサービスです。パケットロス率と応答時間をチェックし、パケットロス率が指定以下か応答時間が指定以上の場合、該当の戻り値を返します。（icmp_ping_alive サービスとの違い：パケットロス率を判定するので、ネットワークトラフィックが大きい場合に誤検出の可能性が低い。）
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: number_graph 指定済み
コマンドライン	check_ping!100.0,20%!500.0,60%
引数	応答時間（msec 単位）とパケットロス率（%） カンマ（,）で区切って指定します。 \$ARG1: 警告（Warning）の閾値 \$ARG2: 異常（Critical）の閾値
使用プラグイン	check_ping

icmp_ping_alive

説明	リモートシステムへ PING を一度だけ（デフォルト指定）送り応答を監視するサービスです。パケット応答を監視し、応答時間が 300msec 以上で警告（Warning）、応答が 500msec 以上ない場合異常（Critical）の戻り値を返します。（icmp_ping サービスとの違い：チェックが早くて負荷が軽い。パケットロス率で判定できないので、ネットワークトラフィックが多いと誤検出の可能性がある。）
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: number_graph 指定済み
コマンドライン	check_alive
引数	なし
使用プラグイン	check_icmp

dns_alive [パラメータ設定必須]

説明	DNS によるアドレス解決を監視するサービスです。 アドレス解決ができなければ異常（Critical）の戻り値を返します （タイムアウト：30 秒）。
計測値／グラフ	なし
コマンドライン	check_dns!ARG1
引数	アドレス解決をする FQDN を指定します。 \$ARG1：FQDN（例：www.praesentia.co.jp）
使用プラグイン	check_dns

tcp_http

説明	HTTP サーバへの接続を監視するサービスです。 接続までの時間を計測し、指定された閾値以上の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: number_graph 指定可
コマンドライン	check_http!3!5
引数	接続までの時間（秒単位）を指定します。 \$ARG1：警告（Warning）の閾値 \$ARG2：異常（Critical）の閾値
使用プラグイン	check_http

tcp_https

説明	HTTPS サーバへの接続を監視するサービスです。 接続までの時間を計測し、指定された閾値以上の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: number_graph 指定可
コマンドライン	check_https!3!5
引数	接続までの時間（秒単位）を指定します。 \$ARG1：警告（Warning）の閾値 \$ARG2：異常（Critical）の閾値
使用プラグイン	check_http

tcp_ssh

説明	SSH サーバへの接続を監視するサービスです。 接続できない（タイムアウト：60 秒）場合、異常（Critical）の戻り値を返します。
計測値／グラフ	なし
コマンドライン	check_ssh
引数	なし
使用プラグイン	check_ssh

tcp_mysql

説明	MySQL サーバへの接続を監視するサービスです。接続までの時間を計測し、指定された閾値以上の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: number_graph 指定可
コマンドライン	check_mysql_port!3!5
引数	接続までの時間（秒単位）を指定します。 \$ARG1: 警告（Warning）の閾値 \$ARG2: 異常（Critical）の閾値
使用プラグイン	check_tcp

tcp_pgsql

説明	PostgreSQL サーバへの接続を監視するサービスです。接続までの時間を計測し、指定された閾値以上の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: number_graph 指定可
コマンドライン	check_pgsql_port!3!5
引数	接続までの時間（秒単位）を指定します。 \$ARG1: 警告（Warning）の閾値 \$ARG2: 異常（Critical）の閾値
使用プラグイン	check_tcp

tcp_oracle

説明	Oracle データベースサーバへの接続を監視するサービスです。接続までの時間を計測し、指定された閾値以上の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: number_graph 指定可
コマンドライン	check_oracle_port!3!5
引数	接続までの時間（秒単位）を指定します。 \$ARG1: 警告（Warning）の閾値 \$ARG2: 異常（Critical）の閾値
使用プラグイン	check_tcp

tcp_mssql

説明	MS-SQL サーバへの接続を監視するサービスです。接続までの時間を計測し、指定された閾値以上の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: number_graph 指定可
コマンドライン	check_mssql_port!3!5
引数	接続までの時間（秒単位）を指定します。 \$ARG1: 警告（Warning）の閾値 \$ARG2: 異常（Critical）の閾値
使用プラグイン	check_tcp

tcp_telnet

説明	TELNET サーバへの接続を監視するサービスです。接続までの時間を計測し、指定された閾値以上の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: <code>number_graph</code> 指定可
コマンドライン	<code>check_telnet!3!5</code>
引数	接続までの時間（秒単位）を指定します。 \$ARG1: 警告（Warning）の閾値 \$ARG2: 異常（Critical）の閾値
使用プラグイン	<code>check_tcp</code>

tcp_smtp

説明	SMTP サーバへの接続を監視するサービスです。接続までの時間を計測し、指定された閾値以上の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: <code>number_graph</code> 指定可
コマンドライン	<code>check_smtp!3!5</code>
引数	接続までの時間（秒単位）を指定します。 \$ARG1: 警告（Warning）の閾値 \$ARG2: 異常（Critical）の閾値
使用プラグイン	<code>check_smtp</code>

tcp_pop3

説明	POP3 サーバへの接続を監視するサービスです。接続までの時間を計測し、指定された閾値以上の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: <code>number_graph</code> 指定可
コマンドライン	<code>check_pop3!3!5</code>
引数	接続までの時間（秒単位）を指定します。 \$ARG1: 警告（Warning）の閾値 \$ARG2: 異常（Critical）の閾値
使用プラグイン	<code>check_pop</code>

tcp_pop3s

説明	POP3S サーバへの接続を監視するサービスです。接続までの時間を計測し、指定された閾値以上の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: <code>number_graph</code> 指定可
コマンドライン	<code>check_pop3s!3!5</code>
引数	接続までの時間（秒単位）を指定します。 \$ARG1: 警告（Warning）の閾値 \$ARG2: 異常（Critical）の閾値
使用プラグイン	<code>check_pop</code>

tcp_imap

説明	IMAP サーバへの接続を監視するサービスです。接続までの時間を計測し、指定された閾値以上の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: <code>number_graph</code> 指定可
コマンドライン	<code>check_imap!3!5</code>
引数	接続までの時間（秒単位）を指定します。 \$ARG1: 警告（Warning）の閾値 \$ARG2: 異常（Critical）の閾値
使用プラグイン	<code>check_imap</code>

tcp_imaps

説明	IMAP S サーバへの接続を監視するサービスです。接続までの時間を計測し、指定された閾値以上の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: <code>number_graph</code> 指定可
コマンドライン	<code>check_imaps!3!5</code>
引数	接続までの時間（秒単位）を指定します。 \$ARG1: 警告（Warning）の閾値 \$ARG2: 異常（Critical）の閾値
使用プラグイン	<code>check_imap</code>

tcp_port [パラメータ設定必須]

説明	ポート番号を指定して接続を監視するサービスです。 接続までの時間を計測し、指定された閾値以上の場合、該当の戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: <code>number_graph</code> 指定可
コマンドライン	<code>check_tcp!ARG1!ARG2!ARG3</code>
引数	接続ポート番号と接続までの時間（秒単位）を指定します。 \$ARG1: 接続ポート番号 \$ARG2: 警告（Warning）の閾値 \$ARG3: 異常（Critical）の閾値
使用プラグイン	<code>check_tcp</code>

3.3. SSH 監視 (UNIX/LINUX)

ssh_disk_root

説明	SSH を利用して UNIX/LINUX のルートパーティションの空きスペース量を監視するサービスです。 残存スペースが指定値以下の場合、該当する戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり／拡張情報テンプレート: number_graph 指定済
コマンドライン	check_by_ssh_disk!400!200!/?
引数	残存バイト数 (K バイト単位) を指定します。 \$ARG1: 警告 (Warning) の閾値 \$ARG2: 異常 (Critical) の閾値 \$ARG3: マウントポイント (固定値: / - 変更しないでください)
使用プラグイン	check_by_ssh / check_disk

ssh_load

説明	SSH を利用して UNIX/LINUX の CPU 負荷 (ロードアベレージ) を監視するサービスです。ロードアベレージが指定値以上の場合、該当する戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり／拡張情報テンプレート: unix_load_graph 指定済
コマンドライン	check_by_ssh_load!5,4,3!10,8,6
引数	ロードアベレージを指定します。 \$ARG1: 警告 (Warning) の閾値 (形式: 過去 1 分, 過去 5 分, 過去 15 分) \$ARG2: 異常 (Critical) の閾値 (形式: 過去 1 分, 過去 5 分, 過去 15 分)
使用プラグイン	check_by_ssh / check_load

ssh_memory

説明	SSH を利用して UNIX/LINUX のメモリ使用率を監視するサービスです。メモリ使用率が指定値以上の場合、該当する戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり／拡張情報テンプレート: percent_graph 指定済
コマンドライン	check_by_ssh_mem!80!90
引数	メモリ使用率を指定します。 \$ARG1: 警告 (Warning) の閾値 \$ARG2: 異常 (Critical) の閾値
使用プラグイン	check_by_ssh / check_mem.pl

ssh_process_count

説明	SSH を利用して UNIX/LINUX 上のプロセスの数を監視するサービスです。プロセス数が指定値以上の場合、該当する戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり／拡張情報テンプレート: number_graph 指定済
コマンドライン	check_by_ssh_process_count!80!100
引数	プロセス数を指定します。 \$ARG1: 警告 (Warning) の閾値 \$ARG2: 異常 (Critical) の閾値
使用プラグイン	check_by_ssh / check_procs

ssh_swap

説明	SSH を利用して swap 領域の空き容量を監視するサービスです。swap 空き容量が指定値以下の場合、該当する戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり／拡張情報テンプレート: percent_graph 指定済
コマンドライン	check_by_ssh_swap!20%!10%
引数	空き容量 (%) を指定します。 \$ARG1: 警告 (Warning) の閾値 \$ARG2: 異常 (Critical) の閾値
使用プラグイン	check_by_ssh / check_swap

3.4. NRPE (Windows)

nrpe_win_disk

説明	Windows のディスク (C:) 使用率を監視するサービスです。ディスク使用率が指定値以上の場合、該当する戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: persent_graph 指定可
コマンドライン	check_nrpe_disk!c:!80!90
引数	使用率 (%) を指定します。 \$ARG1: 警告 (Warning) の閾値 \$ARG2: 異常 (Critical) の閾値
使用プラグイン	check_nrpe / diskpace_nrpe_nt.exe

nrpe_win_cpu

説明	Windows の CPU 使用率を監視するサービスです。CPU 使用率が指定値以上の場合、該当する戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり / 拡張情報テンプレート: persent_graph 指定可
コマンドライン	check_nrpe_cpu!80!90
引数	使用率 (%) を指定します \$ARG1: 警告 (Warning) の閾値 \$ARG2: 異常 (Critical) の閾値
使用プラグイン	check_nrpe / cpuload_nrpe_nt.exe

nrpe_win_mem

説明	Windows のメモリ使用率を監視するサービスです。 メモリ使用率が指定値以上の場合、該当する戻り値を返します。
計測値／グラフ	あり／ 拡張情報テンプレート:persent_graph 指定可
コマンドライン	check_nrpe_mem!80!90
引数	使用率 (%) を指定します \$ARG1: 警告 (Warning) の閾値 \$ARG2: 異常 (Critical) の閾値
使用プラグイン	check_nrpe / memload_nrpe_nt.exe

nrpe_win_service [パラメータ設定必須]

説明	Windows サービスの稼動監視をするサービスです。Windows サービスが開始されていない場合、異常 (Critical) の戻り値を返します。
計測値／グラフ	なし
コマンドライン	check_nrpe_service!ARG1
引数	監視するサービスを指定します。 \$ARG1: サービスの表示名。 カンマ (,) で区切って複数指定できます。(注: サービスの表示名中には空白文字が指定できますが、それ以外の場所 (例: カンマの前後) で空白を入れてはいけません。
使用プラグイン	check_nrpe / service_nrpe_nt.exe

3.5. SNMP (ネットワーク機器)

SNMP サービス使用に際して、下記の登録の確認が必要です:

- Nagios リソースマクロ **USER7** で **SNMP** コミュニティ名を指定する。
(デフォルト: public)
- サービス名の末尾に数値があるサービスがあります。

これはネットワーク機器のインタフェース番号を 1 で設定されたサービスです。

このサービスを複製してネットワーク機器の各ポートを指定する名称として **_2** や **_3** を付けて明示的にポートに対するサービスを追加することができます。

snmp_ifbandwidth_1

説明	SNMP を使用してネットワーク機器のインタフェース (1) の通信量を監視するサービスです。取得する情報は、入出バイト数カウンターとインタフェース速度です。
計測値／グラフ	あり／拡張情報テンプレート snmp_ifbandwidth 指定済
コマンドライン	check_snmp_bandwidth!1
引数	監視するインタフェースを指定します。 \$ARG1: インタフェース番号 (固定指定: 1)
使用プラグイン	check_snmp

snmp_ifoperstatus_1

説明	SNMP を使用してネットワーク機器のインタフェースのオペレーション状態を監視するサービスです。
計測値／グラフ	なし
コマンドライン	check_ifoperstatus!1
引数	監視するインタフェースを指定します。 \$ARG1:インタフェース番号 (固定指定: 1)
使用プラグイン	check_ifoperstatus

snmp_if_1

説明	SNMP を使用してネットワーク機器のインタフェースを監視するサービスです。取得する情報は、入出のバイト数、廃棄数、エラー数です。
計測値／グラフ	あり／拡張情報テンプレート snmp_ifbandwidth 指定済
コマンドライン	check_snmp_if!1
引数	監視するインタフェースを指定します。 \$ARG1:インタフェース番号 (固定指定: 1)
使用プラグイン	check_snmp

udp_snmp

説明	ネットワーク機器からの SNMP 応答を監視するサービスです。
計測値／グラフ	なし
コマンドライン	check_snmp_alive
引数	なし
使用プラグイン	check_snmp